



ふくしま オーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 30-2 平成 30 年 10 月 22 日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉

字下中道 116 番地

TEL 024(958)1711

FAX 024(958)1730



センターまつり「親子でトマト収穫体験！」「有機農産物販売！」

農業総合センター有機農業推進室

有機農業推進室では、消費者へ有機農業や有機農産物への理解を深めていただくため、今年も農業総合センターまつりにおいて「有機農業を知って得する。親子でトマト収穫体験」として、ミニ勉強会と収穫体験を実施しました。2日間併せて4回開催し、昨年より多い72名の参加がありました。参加者の中には来年もぜひ参加したいといった声もありました。

始めにミニ勉強会で、有機JASマークや有機JAS認証制度について学んだ後、有機栽培を行っているほ場へ移動してミニトマトの収穫体験を行いました。

ほ場では、野菜の味方となる昆虫（天敵）を引き寄せる“おとり植物”としてソルゴーを育てているため、見たこともない“畑”に参加者の目が輝いていました。袋いっぱいミニトマトを詰め、草の生い茂る有機栽培ほ場を興味深く見て回っていました。

今後とも有機農業・有機農産物が身近なものになるよう活動していきます。



左上：収穫体験の様子、左下：ミニ勉強会、右：収穫体験終了後に記念撮影

また、販売コーナーでは、有機JAS認証を取得している「喜多方ゆうきの和」と「チャルジョウ農場」が出店され、香りのよい枝豆や珍しい会津伝統野菜のなす、甘いメロンなど、来場者も興味津々の様子で購入していました。

来年はみなさんも農業センターまつりに出店してみませんか。



喜多方ゆうきの和



チャルジョウ農場

「オーガニック農産物！親子収穫体験会 in 会津」を開催しました！

会津農林事務所農業振興普及部

会津農林事務所は会津オーガニック匠の会等と共同で、8月4日（土）に会津若松市近郊の有機栽培ほ場、および「道の駅あいづ湯川・会津坂下」において仙台市内の親子12組35名と会津地域の有機農業者との交流会を開催しました。

ミニトマトとブルーベリーの収穫体験では、「ミニトマトやブルーベリーがとても甘く、たくさん収穫しました！」、「自分で収穫するのは初めてだったので、楽しかった！」といった声を聞くことができました。

道の駅での交流会では、有機農産物たっぷりのカレーライスやサラダをみんなで味わい、また有機農産物の抽選会を通して交流を深めました。交流会では親子から「会津の有機農産物を応援します！」、「会津が大好きです！」、等のエールをいただきました。

今後も、このような取組等により有機農産物の販売拡大、生産振興を支援していきます。



収穫体験（ミニトマト）の様子



集合写真

親子でジャガイモ収穫体験

相双農林事務所双葉農業普及所

7月26日(木)、子育て世代の方々を対象に有機農業への理解を深めていただくために「親子で遊ぶ・学ぶオーガニック(有機栽培)じゃがいも掘り取り体験会」を開催しました。いわき市にある学校法人明照学園九品寺こども園に通う児童と保護者、併せて30名が参加しました。

九品寺こども園で有機農業や有機 JAS マークについて学んでいただき、その後、バスに乗っていわき市平下大越で有機農業を営む小林勝弥さんの畑に移動しました。小林さんから畑の説明を受けた後、有機栽培のじゃがいも掘り取りを行い、その後、茹でたてのじゃがいもを試食しました。参加した方々は、親子で楽しくじゃがいもを収穫したり、子供達で仲良くじゃがいもを掘って、大きさを比べ合ったりしていました。

保護者からは、「良い機会でした。有機 JAS マークの意味が分かり、今度探してみたい。」などの感想が寄せられ、有機農産物に対する理解が深まるとともに親子で楽しい時間を過ごしていただけたと思います。



有機農業や有機 JAS マークに関する講習



じゃがいも収穫体験の様子

平成30年度福島県有機栽培米生産者 訪問見学会を開催!

農業総合センター有機農業推進室

有機栽培米の販売促進を図るため、首都圏等の米穀小売店を対象に、福島県有機栽培米生産者訪問見学会を開催しました。

見学会は、9月23日(日)と10月7日(日)の2日間に、浜通り(Aコース)、中通り(Cコース)、会津(B・Dコース)の4コースを設け、米穀小売店が希望のコースに参加する「コース選択型」とし、首都圏から29名の参加がありました。都県別では、東京都13名、神奈川県8名、千葉県5名、埼玉県3名となりました。

見学会では、生産者の水稲有機ほ場や乾燥調製施設を見学し、米穀小売店との意見交換を通じて親交を深めました。また、当センター品種開発科の研究試験ほ場を見学し県オリジナル品種について学びました。

〈参加者からの声〉

・原発事故があり様々な問題があるなかとても前向きで、大変勉強になりました。風評が

少なからずありますが、個人的には福島県が一番まじめに取り組んでいると思います。

- ・G G A P、有機J A Sの基準を満たして取り組んでいるのがすばらしい。
- ・有機J A Sの田んぼの特長や生き物が多いこと、生産者の気持ちなど、消費者に伝えたいことが沢山できました。
- ・ベテラン農家の方の努力が伝わってきました。全国食味コンクールで金賞85点以上の食味に驚きました。アファス認証を取っていることもすごい。
- ・自然栽培に取り組む意気を感じました。雑草が多いな。
- ・息子さんが後継いでいたのでこれからが楽しみな農家さん、独特の農法にとっても興味があります。お米食べてみたい。
- ・自然栽培への情熱と家族の絆が素晴らしい。頑張っていたきたい。

<p>Aコース 9/23 いわき あじま農園</p> 	<p>Bコース 9/23 会津若松 すとう農産</p> 	<p>Bコース 9/23 会津若松 あいづ有機農法生産組合</p> 
<p>A・B共通 9/23 郡山 当センター品種開発科</p> 	<p>Cコース 10/7 福島 やまろく米出荷協議会</p> 	<p>Cコース 10/7 郡山 石澤農園</p> 
<p>Dコース 10/7 喜多方 渡部農園</p> 	<p>Dコース 10/7 会津若松 長尾農園</p> 	<p>C・D共通 10/7 郡山 当センター品種開発科</p> 

ー有機栽培米商談会を、東京都文京区湯島「東京ガーデンパレス」にて、平成30年12月9日(日)午前11時から午後5時まで開催する予定です。有機JAS認証を取得し、自慢の米を生産しているみなさん、参加してみませんか。ー